

回覧

第6回（最終回）但東地域 デザイン懇談会を開催しました

但東地域の最終回となる「第6回但東地域デザイン懇談会」を、12月5日（日）ホテルシルク温泉やまびこで開催しました。

「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービスの提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

最終回となる今回は、参加者の皆さまに延床面積削減という目標を達成するための具体的な方法を検討していただきましたので、その結果について振り返りを行いました。

次に、第1回から第5回の懇談会で話し合っていた意見・アイデアについて各グループで最終確認とまとめを行い、さらなるアイデアはあるか、また、意見の出ていなかった施設についてはどうかなど議論していただきました。

最後に各グループワークの結果を発表し、全体で共有しました。

懇談会の様子



「但東地域デザイン懇談会」は今回で終了となりました。参加者の皆さまには、貴重なご意見やアイデアを多数いただきました。誠にありがとうございました。

市民の皆さまに、懇談会での成果を報告する会を3月に開催する予定です。詳細は決まり次第お知らせします。



参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

グループ A

- 日本・モンゴル民族博物館とたんたん温泉が連携することにより利用価値を高める（泊と温泉と遊と集いの場に）
- 健康福祉センターは民間の介護事業者や医療施設を融合して活用する
- 老朽化したスポーツ施設を学校教育系施設などに機能移転
- 産業系施設は徐々に民間へ（一部はコミュニティセンターへ移転）

グループ B

- コミュニティセンターは多世代が交流する場へ
- スポーツ施設は、子どもが安心して遊べたり、インターネット予約ができれば
- 温泉施設は送迎サービスやフリースペースがあると良い
- 健康福祉センターはウェルストークの支店のようなスポーツジムになれば

グループ C

- 日本・モンゴル民族博物館⇒地域や他施設と連携し交流拠点とする
- 健康福祉センター⇒医療・福祉・スポーツジムなど健康ゾーンとしてまとめる
- 但東中央体育館⇒学校教育系施設等に機能移転（一般も使えるように）
- 産業系施設は旧学校給食センターに機能移転

グループ D

- 老朽化した産業系施設は、旧学校給食センターを活用し移転
- 医療施設と健康福祉施設を一緒にまとめる
- 老朽化したスポーツ施設は学校施設の体育館へ機能移転
- 日本・モンゴル民族博物館は、レクリエーション施設として民間に任せる

❖全懇談会を通してのご意見・ご感想❖

- ・行ったことのない施設もあり、資料よりもまず施設見学があれば良かった。
- ・分からない施設もあるので、自分の地区の施設について最後まで同じメンバーで話し合った方が良かった。
- ・但東町だけでなく、豊岡全体として考えることがとても難しかった。
- ・考えることが大事で、そのことに気づかされた。大変勉強になった。
- ・みんなが真剣に考え、意見を出し合えたと思う。
- ・発展的な話で、そのためのアイデアというならもっと活発な意見が出るのではないかな。

【参加者アンケートより】

当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129
但東振興局 地域振興課 電話 54-1000